



校長室の窓から

未来の花

“広げよう 一日一つ 笑顔の輪”

2024年(令和6年)5月10日 NO. 1
宜山小学校長 田村 真澄

校庭のメタセコイヤの木



宜山小学校に赴任しました、校長の田村真澄です。どうぞよろしくお願いいたします。

28名のかわいい新入生を迎え、児童数272名、教職員34名、児童も教職員も新しい出会いの中、新たな目標に向かってスタートしています。

本校の学校教育目標は「自ら考え学び、社会に貢献できる子どもの育成」です。そのために、児童自身が考える力、判断する力を意識する場面を多く設け、子ども達同士が考えを出し合い、学び合っていく授業や活動を目指しています。

「宜山っ子憲章」を大切にしている活動を支えながら、一人一人の「伸びたい。分かってほしい。」と思う気持ちを大切に、子ども達が自分らしく生き生きと学ぶことができる環境をつくっていき、「チーム宜山」で、精一杯支えて参ります。

宜山小の校庭に大きく空に向かって伸びるメタセコイヤの木。幹を支える根っこのような確かな力を育む教育活動を進めていきたいと思っています。

引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

1学期がスタートして

新学期が始まって早くも約1か月。子ども達の頑張りや素敵な姿がいろいろな場面で見られます。登校時、1年生のことを気かけながら歩く速さを合わせてあげたり、手をつなぎ、励ましながら歩いたりしている登校班長や副班長、上級生の子ども達。生活科の学校探検で、2年生が1年生と手をつないで、優しく案内をしている姿。縦割り掃除や1年生を迎える会などで、6年生が中心となって縦割りグループの活動を優しくリードしてくれている姿。今年度、あいにくの天気で、遠足が中止となりましたが、体育館で行われた低学年・高学年別のレクでは、どちらも楽しく盛り上がっていて、学年を越えて、温かいつながりのある笑顔いっぱいの時間を過ごしていました。宜山小の子ども達のもっている優しい気持ちと温かいつながりがさらに広がってほしいことを願っています。

1年生の学校探検



2年生がやさしく手を引いて



1年生を迎える会

体育館レク(低学年)



3年生がしっかりリードしてくれました!

今年も「俳句にチャレンジ」! ~4月作品紹介~

「松尾芭蕉」賞



【芝田 宏子前校長先生 選】

春のあさ

ちよつと明るい きがしたな

二年 江草 南那

春になるとお日さまが出る時間が
少しずつ早くなります。
南那さんは、春のあさ、きのうよ
り ちよつと明るくかんじたのです
ね。よく気づきましたね。みごとな
一句になりました。



きせつには

いみがあるけど たのしいな

三年 石井 彩友香

「きせつには いみがある」だれに
も気づかないような みごとなひよ
うげんです。
それぞれの子せつには、それぞれ
のよさがあり、あゆかさんは、楽し
いとかんじたのですね。すばらしい
一句です。



学校からの帰り道に、咲良さんは
天道虫を見つけたのでしようか。暖
かくなって、天道虫も喜んで活動し
ているのですね。その様子を「運動
会」と表現したところがすばらしい。
読んでいて楽しくなる句です。

帰り道

天道虫の 運動会

六年 芳賀 咲良

季語一つと五・七・五のリズムが
よい。パンジーのもようを「目みた
いながら」と感じたひよりさん。だ
れもそのことに気づいた人はいない
のではないでしょう。しかもその
「目みたいな」パンジーとひよりさ
んの目が合った、発想豊かな句にお
どろかされました。

パンジーの

目みたいながら 目があった

五年 三好 ひより

希愛さんは、運動会の紅白リレー
の選手に選ばれたのですね。よくが
んばりました。
みんなのぶんまでがんばりたいと
いう責任感の強さに希愛さんの意欲
が伝わってきました。

せんしゆにね

えらばれたこそ がんばるぞ

四年 藤代 希愛

「与謝蕪村」賞



春休み

ツバメがとんで たのしもう

二年 上野 朝陽

五・七・五のリズムがよい。ツバメが
飛んでくると、いつしよに春をつれて
きてくれるようですね。それを見のが
さなかった あさひさんはすばらし
い。春らしい一句になりました。

ツバメの子

色あざやか きれいだな

二年 青山 準也

季語一つと五・七・五のリズムがよ
い。準也さんは、ツバメのすをみつけ
たのですか。中にかわいいツバメの子
がいましたか。ツバメの成長がとて
も楽しみになる一句ですね。

たのしもう

春のお花見 かぞくてね

二年 田原 歩夢

満開のさくらの花を家族でお花見に
行くとは、あゆむさんの家族は、なか
のよいご家族なのですね。家族で行く
お花見は、とても楽しみですね。うら
やましくなりました。

「俳句」にチャレンジ



「与謝蕪村」賞

【芝田 宏子前校長先生 選】

小学校に 入学して はりきって
登校する一年生。その姿を「元気をも
って」と表現したところがとてもよ
い。入学したよるこびが伝わって
くる一句になりました。



えらばれた
紅白リレー がんばるぞ
四年 藤川 彩巴

小学校に 入学して はりきって
登校する一年生。その姿を「元気をも
って」と表現したところがとても
よい。入学したよるこびが伝わって
くる一句になりました。



一年生
元気をもって 新学き
三年 石井 あゆか

待ち望んでいた桜が、みごとにさ
きほこりました。春風にふかれて、花
びらが、ちらちらと舞い落ちるその
光景はなんともきれいです。その瞬
間を見のがさずに表現した音華さ
ん。とてもすてきな一句になりました。

桜見て
ちらちらおちるよ 春風だ
六年 江草 青華

暁登さんの家の庭には、そめいよ
しのの桜の木があるのですね。その
桜の木がさきほこると、お家でお花
見ができます。なんともうらやまし
い自まんの桜の木ですね。暁登さん
のお家の宝物として大切にしてくだ
さい。

家の庭
そめいよしのが さきほこる
五年 田邊 暁登



「小林一茶」賞



今年度、前任の芝田校長先生に
子ども達の俳句を詠んでいただき
ます。引き続き、「俳句にチャレン
ジ」に取り組むことで、日々の生
活の中で、季節を感じたり、印象
に残ったりしたひと時を俳句で表
現していく楽しさを感じてほしい
と思います。

はいくして
いいことあるよ うれしいな
五年 小川 颯太

校ちよう室
トロフィーあるぞ キラキラだ
三年 坂井 大樹

みんなでね
おはなみいこう たのしみだ
二年 陣内 幸哉

はるやすみ
きれいなみちが はなのみち
二年 大本 楓真

